放射性物質濃度調査結果一覧表　　　　Ｐ．

|  |  |
| --- | --- |
| 整理コード |  |

|  |
| --- |
| 区分 |
|  |

調査件名：

調査地点：　　　　　　　　　　　　　　　　　　調査担当：

　地点番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　　分析担当：

地盤高：　　　 　　　　測定深度：

試料採取年月日：令和　　年　　月　　日　　時　　分

分析年月日：令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 表層 | 表層－0．５ｍ |
| セシウム134 |  |  |
| セシウム137 |  |  |
| セシウム合計 |  |  |
| 含水比 |  |  |
| 備　考 |  |  |

放射性物質濃度調査について

1.　新海面処分場における作業環境などの安全性を確認するため、放射性物質濃度（Ｃｓ-134とＣｓ-137との合計）を測定する。

2.　調査頻度は、1工事ごとに1地点とする。

3.　調査深度は、表層及び0.5m（5サンプルを混合し1検体とする。ただし、深度方向には混合しない。）とする。

4.　調査項目は、放射性物質濃度（セシウム　Ｃｓ-134　Ｃｓ-137）の湿潤値と含水比

5.　試験方法

・　放射性物質濃度は、「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」による。なお、検出限界値は、10Bq/kgとする。

・　含水比は、「東京港内における水底土砂の調査要綱（東京都港湾局）」によること。

6.　備考

・　工事区域と放射性物質濃度調査位置の関係がわかる図面を添付すること。

・　含水比試験を放射性物質濃度試験と異なる試験機関が実施した場合は、その結果を別添すること。